

I 災害の概況と対策

1 概況

2 災害対策の促進

I 災害の概況と対策

1 概況

平成25年は6月の梅雨前線豪雨，9月の台風17号など11回の異常気象により災害が発生した。

国土交通省所管公共土木施設災害の査定決定額は，県工事で20箇所181,314千円，市町村工事で104箇所630,697円，合計で124箇所812,011千円であった。

異常気象別では，9月3日から9月4日にかけての台風17号，6月8日から6月11日にかけての梅雨前線豪雨が特に大きく，査定決定額はそれぞれ順に353,362千円，76,189千円であった。

2 災害対策の促進

(1) 災害復旧事業

災害復旧事業は，3ヵ年で全箇所の復旧工事を完了するように予算措置が講じられるが，平成25年度復旧進捗は決定箇所数において79.8%の99箇所が完成した。

(2) 河川等災害関連事業

災害復旧にあたり，改良費を加え未災箇所も含めて改良復旧を行うことにより事業の効果をより大きくするための事業であるが，平成25年は採択されていない。

